

Independent 「自立」への架け橋



「北中っ子ドリームパスポート」(キャリアパスポート)の取り組みが始まります。

ドリームパスポート (キャリアパスポート) とは

小学校から高校まで「記録ファイル」をつなげていきます。「記録ファイル」には、その年々に考えた「夢」や「目標」などがつづられます。



エンジニアになるぞ、そのためには広い知識と好奇心が必要だ。そのためには「読書」が一番だ！

看護師になりたい。人と関わる力が必要だね。だから授業中のディスカッションには積極的に参加するわ。

プロ野球選手になるぞ！そのためには毎日の勉強も大切だってイチロー選手も言っていたぞ。



※保護者の皆様へ
「ドリームパスポート」の導入にあたっては、保護者の皆様にファイル購入費のご負担をお願いすることになります。長期的に（高校卒業まで）活用しますのでご協力よろしくお願ひします。

夢を叶えるためには 考え続け、行動し続けること！

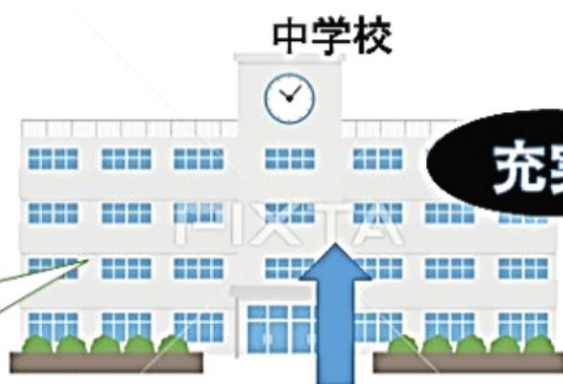
中学校・高校12年間をつなぐ

キャリアパスポート



高校

発展



中学校

充実

中学校は最も
「キャリア発
達」が育成でき
る時期

キャリアパスポート
nixt4 in - 14364040



基礎



キャリア教育

この3つがつな
がり、キャリア
発達が促せるか
が研究課題



Independent

「自立」への架け橋



「おてつだいウィーク」が始まります。

実施期間 6月24日（月）～6月28日（金）

本校が目指す「自立した児童の育成」におきましては、「家庭でのお手伝い」も子供たちの自立心を育成する上で大変重要だと考えています。ぜひ「お手伝いウィーク」をきっかけに、お子様も家族の一員としてお手伝いをしてもらおう習慣づくりを積極的に行っていきましょう。

お手伝いのメリット

1.自立する力を養う

家事とは「生活していくのに必要な能力」です。大きくなっても洗濯物が畳めない、ゴミを捨てる習慣がない、ご飯の炊き方（洗い方）を知らない…では困ります。自分一人で生き抜く力の基礎を小さい頃から身に付けるには、お手伝いを習慣づけるのが最適の方法と言えます。

2.責任感や自己肯定感が育つ

保護者から「頼られている」「必要とされている」と感じることで、自己肯定感が育ちます。さらに、「ありがとう」「助かったよ」などの声かけをすることによって、感謝される経験と自信が養われます。



3.段取り力や行動力が身につく

お手伝いをする中で「先を予測（考え）しながら行動する力」が自然と鍛えられます。ご飯の準備のお手伝いの場面で考えてみましょう。「お母さんの料理の進行状況を見て準備開始」→「台拭き濡らして拭く準備」→「テーブルを台拭きで拭く」→「お皿やお箸を用意する」→「ご飯をよそう」→「できた料理を席に並べる」などなど。どう工夫すれば効率よくできるか、どうすれば早く正確に出来るのかなど、考えながら取り組むことで、先を見通す力や思考力が身に付きます。

4.保護者とのコミュニケーションを深める

子供にお手伝いをさせることによって、子どもと向き合う時間は増えます。手間取っていたら、アドバイスする。お手伝いが終わったら感謝の言葉をかける。間違いなく親子のコミュニケーションは深まっていくでしょう。



5 お手伝いをさせるときのポイント

●任せたら「手出し・口出し」は（なるべく）しない。できたことに目を向けて、感謝を伝える。

●できないことではなくできたことに対して対等な目線で、「エライねー」ではなく、「たすかったよ」「ありがとう」と上から目線ではなく、同じ生活共同者として、やってくれたことへの、「感謝」と「素直な気持ち」を表現してみてください。



●部活動や習い事をしていても、しっかりおてつだいをしてもらおう。（お父さん、お母さんだって仕事をしています。）

お手伝い例

- 食事を一緒に作る
- 食器を下げる
- 靴を揃える
- 洗濯物をしまう
- カーテンを閉める
- トイレやお風呂の掃除をする
- 食事を運ぶ
- 食器を洗う
- 洗濯物を干す
- ごみを捨てる
- 電気を消す

等々

※保護者の皆様へ

「ドリームパスポート」の導入にあたっては、保護者の皆様にファイル購入費のご負担をお願いすることになります。長期的に（高校卒業まで）活用しますのでご協力よろしくお願ひします。



Independent

「自立」への架け橋

7/17

夏休み
宿題

子どもから保護者へのインタビュー

お父さん、お母さんは、子どものキャリア形成、**生き方**に影響を与える最良のモデルです。

本校が目指す「自立した児童の育成」においては、保護者のみなさんの今までの「あゆみ」「歴史」などをお子さんに伝えてもらうことはとても大切なことだと考えています。

そこで、夏休みの宿題として「お父さん、お母さんへのインタビュー」を実施します。お子さんからの質問をもとにいろいろな話をさせていただけると助かります。

このインタビューをきっかけに、親子関係をさらに深めると同時に、子どもたちが学ぶことの意義や、心豊かに生きることの大切さに気づき、今後の学校生活をよりよいものにしていただくと考えています。

インタビュー例

- 1 どんな子供時代だった？
- 2 どんな中学生、高校生だった？
- 3 小さい頃、お父さんやお母さんにどんなことを褒められた？
- 4 どんな勉強が得意だった？
- 5 どんな運動が得意だった？
- 6 忘れられない嬉しい思い出は？
- 7 忘れられない悲しい思い出は？
- 8 本やテレビで好きだったのは？
- 9 好きだった先生、苦手だった先生はいた？
- 10 どうして私の名前を〇〇〇にしたの？
- 11 私の名前に他の候補はあった？
- 12 私が生まれた時、どんなことを考えた？
- 13 どんな子に育ててもらいたいと思った？
- 14 尊敬していたのは誰？
- 15 後悔していることはある？
- 16 今、とても楽しんでいるのはどんなこと？
- 17 今、とても苦労しているのはどんなこと？
- 18 私にどんな子になってもらいたい？

※保護者の皆様へ

「ドリームパスポート」の導入にあたっては、保護者の皆様にファイル購入費のご負担をお願いすることになります。長期的に（高校卒業まで）活用しますのでご協力よろしく申し上げます。

「おてっだい」は継続できていますか

| 期 日 | お手伝いしたこと | 保護者のサイン |
|----------|----------------------------|---------|
| 6月24日(月) | ごはんいれ | 宮城 |
| 今日の振り返り | しおもじに、米つぶが、しらは、いく、ついた。 | 宮城 |
| 6月25日(火) | せんたく物を中にいれる | 宮城 |
| 今日の振り返り | とどかないところもねたけど、じはん、したらとどいた。 | 宮城 |
| 6月26日(水) | くつならべ | 宮城 |
| 今日の振り返り | つかれたから、くつならべをした。 | 宮城 |
| 6月27日(木) | そうじき | 宮城 |
| 今日の振り返り | おむすところがつかれた。 | 宮城 |
| 6月28日(金) | 弟のおふろをいれる | 宮城 |
| 今日の振り返り | 「きゅーきゅー」いたりしたからうるさかた。 | 宮城 |

大変ながらも、楽しいふんいきが伝わります

一週間を終えての振り返り、感想、気づき(児童)

お母さんのいそがしいきもちがたいへんな
気もちが分かりました。

お母さんの大変さに気付いています。

一週間を終えての保護者からの感想をお願いします。

普段からおてっだいがんばってくださるが、お手伝いウィークの時は「何やる？何やる？」といつも以上にがんばってくれました。雨がふりだす前にせんたく物を取りこんでくれた火曜日は、大助かりでした。これからもよろしくお願いします。

お母さんのコメントもいいですね。



Independent

「自立」への架け橋

11/13

夏休み
宿題

子どもから大人へのインタビュー

夏休みの宿題として、「大人に聞こう キャリアインタビュー」を子供たちにやってもらいました。その一部を紹介します。

おじいちゃんは今はマンションの管理人をしています、
小さい頃は警察官になりたかったようです。

おばあちゃんは、赤ちゃんを産んだお母さん達の食事を作っている
そうです。小さい頃はデザイナーになりたかったそうです。

二人の話を聞いて、だれかのために一生懸命がんばっている気持ちが
伝わってきて、すごいなあと思いました。 1年 女子



お父さんはトラックの運転手をしていて、
お母さんは従業員の給料の計算をしています。

お父さんは荷物をこわさないように、事故を起こさないように気をつけ
て運転することを心がけているそうです。

お母さんは数字を間違わないように気をつけているそうです。

二人の話を聞いて、とても大変な仕事をだけど、せきにんをもって仕事
をしていることがわかりました。 3年 男子



お父さんは小さい頃から物づくりが好きだったから、
今は電気の仕事をしていて、お母さんは子育ての合間にできる
調理場の仕事を選んだそうです。

どちらも仕事でつらいことはあるそうですが、お父さんは家族のことを
考えると力がわいてくる、お母さんは嬉しい言葉をかけてくれるから仕事が
楽しくなるそうです。

仕事は楽しいだけでなく、つらいこともあることがわかった。でも、たく
さんの人に支えられることで頑張れるんだなど、インタビューを通して感じ
ました。 5年 女子



お父さん、お母さん、そして身近な大人は、子どものキャリア形成、**生き方**に影響を与える最良のモデルです。

Q なぜ小学校からキャリア教育が必要なのですか？

A 「自立性」「社会性」の基盤を形成する大切な時期だからです

小学校段階は、社会人として必要な「自立性」や「社会性」を育て、一人一人の子どもたちがそれぞれの進路を探索・選択する力を培う上で、重要な基盤を形成する大切な時期だからです。

Q 小学校から将来設計を立てさせることが大切なのですか？

A 目標の達成に向けて努力する姿勢を育むことが大切です

小学校におけるキャリア教育は、具体的な将来設計を立てさせることを目指すものではありません。学級・学校・家庭・地域社会等における様々な活動を通して、将来設計の基盤となる「夢や希望」をはぐくみ、目標の達成を目指して工夫し努力することの大切さを体得させ、自信や有用感を高める機会を計画的に設けていくことが大切です。

Q なぜキャリア教育がこんなに重要視されてきているのですか？

A 学校での学びと将来を結びつけきれず不安になる子の増加

子どもたちが将来に不安を感じたり、学校での学習に自分の将来との関係で意義が見いだせず、学習意欲が低下し、学習習慣が確立しないといった問題が指摘されているからです。

Q その他、小学校からキャリア教育を進めることのメリットを教えてください。

A 学校での学びと将来を結びつけきれず不安になる子の増加

特に小学校では、豊かなキャリア教育の実践によって、家族や友達、身近な地域の人々への関心や信頼感を高め、多角的な視野から他者を理解するための基礎となる力を養い、人々が自らの責任を果たしつつ相互に支え合って様々な集団や社会を築いている事実気付いていきます。そして、子どもたち一人一人がそのような集団としての学校や家庭、ひいては社会の重要な一員であることを、実感を伴って理解できるようになっていきます。